

FirstGlobal メッセージ

siesta

2019.8月号 vol.194

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

ヒマワリの種

メジャーリーグ (MLB) エンゼルスの大谷選手をはじめとして、今年も日本人選手が活躍しています。野球にご興味のない方はご存じなく、ご覧になったこともないかもしれませんが、MLBの選手はよくベンチで「ヒマワリの種」を食べて、その殻をベンチに吐き捨てています。カボチャの種も用意されることもあるそうですが、カボチャの種は大きく、口の中でもてあそぶには適さず、圧倒的にヒマワリの種に人気があるそうです。まれに日米親善などで来日して、日本の球場でメジャーリーガーの試合があると、ベンチの床はその殻などのごみが散乱し、よく話題になります。日本人からするとおそらく、ちゃんとゴミ箱に捨てるよ、とか、もっと綺麗に使えよ、という感覚になるのではないのでしょうか？もちろん大谷選手は吐き捨てたりしていないようですし、逆にグラウンドに落ちているごみを拾って、賞賛されているようです。しかし、米国の球場のベンチで選手がごみを片付けて、綺麗にすることはしません。おそらく日本でなら選手の人間性まで問われるような事柄だと思います。事実、皆さん、小さい頃からそういう教育を受けてきたのではないのでしょうか？でも選手は掃除をやってはダメなのです。なぜか？それは清掃を生業としている人から、その仕事を奪うことになるからです。欧米では「仕事」に対してお給料が支払われます。話が飛びますが、法改正に伴い、企業は「同一労働同一賃金」の適用を求められ、それに沿った賃金体系や就労体系への整備を求められます。この概念に変えるには「このお仕事」で「この給料」という形態に変えないといけません。従来日本の企業は「人」もしくは「能力」に対して給料を決定してきました。能力が上がれば給料も上がる、という理屈です。「同一労働同一賃金」を実行するには、仕事に対して値段をつけて、割り振るという作業が必要です。いわゆる「職務給」的な発想に変えないといけません。日本人には向かないといわれています。上記のヒマワリの種の話聞いて、合点がいきました。でもできないできない、と云ってられませんね。

< next >

6月に入っても、なかなか梅雨入りしませんが、月末に来てやっとという感じですね。ただいっぺんに降るようなゲリラ豪雨はだけは勘弁願いたいものです。